

令和 6 年度

第 3 回大垣市社会教育委員の会 議事録

日 時 令和 6 年 9 月 27 日（金） 13：35～15：05

場 所 上石津学園 会議室

次 第 授業参観および学園施設見学

1 開会のことば

2 「大垣市民の誓い」朗読

3 教育長あいさつ

4 学校長あいさつ

5 議事

(1) 上石津地域学園協働本部の活動について

(2) 意見交流

「地域、学校、家庭をつなぐ社会教育のあり方」

～ウェルビーイングの実現に向けた人、地域のつながりづくり～

・上石津地域学園協働本部の活動に関する発表内容について

・地域、学校、家庭が互いに連携し、地域全体で子どもを育てるには

・地域住民のつながりを深め、地域の活性化を図る「地域学校協働活動」とは

6 閉会のことば

出席者【大垣市社会教育委員 8 名、上石津学園関係者 2 名、事務局 9 名、計 19 名】

・大垣市社会教育委員

佐野 篤、益川 浩一、稲川 明子、平野 宏司、安藤 千博、井上 徹子、
松野 光宏、桑原 昌子

・上石津学園関係者

三宅 治（上石津地域学園協働本部会長）、神谷 憲一（上石津学園校長）

・事務局

細江 敦（教育長）、平松 善幸（事務局長）、鈴木 浩成（庶務課長）、
小倉 正裕（学校教育課長）、林 昭義（社会教育スポーツ課長）、
小倉 伸子（社会教育スポーツ課参事）、田中 真貴（社会教育スポーツ課主幹）、
堀 佳奈（社会教育スポーツ課主事）、澤田 文彦（社会教育指導員）

傍聴者【0 名】

事務局 全員	開会のことば 「大垣市民の誓い」朗読
教育長	教育長あいさつ ・学校も２学期が始まり約１か月が経った。運動会や修学旅行などを実施する学校も多いが、まだまだ熱中症対策などをとらねばならない暑さに、学校現場も苦慮している。 ・本日は、開校して半年ほど経った上石津学園内を見学させていただいた。ちょうどたて割りの中学３年生から小学１年生までが一緒になって掃除をしている様子を見ることができた。大きい子が小さい子の面倒を見ながら、安定した学校生活を送っている様子をうかがうことができた。９年間の異年齢集団の中で、それぞれの学年の整った生活が出来上がりつつあり、うまく交わり合っている。 ・このような子どもの姿は、学園をスタートさせるにあたって、上石津地域の方々が一生懸命考え尽力していただいたからであり、開校後も地域の願いと学校の願いを一つにして、進めてきてくださったからこそその姿である。 ・この後、三宅 治上石津地域学園協働本部会長よりお話いただく、地域学校協働活動から、社会教育の面でも、学校教育の面でも学ぶ点があると考えている。大垣市の他の地域で、まったく同じ取組をすることは難しいが、９年間の子どもたちを、地域丸ごと全体で支えているモデルケースとして上石津地域から学んでいきたい。
校長	学校長あいさつ ・昨年の９月に保護者向けに説明会を開いた際に配付したリーフレットをもとに上石津学園の概要説明。全校児童生徒 271 名。４年生 36 名と 8 年生 37 名が２クラスになっているが、南校舎の教室が、各階 3 教室ずつであり、9 クラス分しか一つの校舎に作ることができなかった。そこで、４年生と 8 年生は、朝の会帰りの会、給食等は 1 つの教室で一緒に活動し、授業だけ 2 クラスに分けて行っている。また、小学校 1 年生から教科担任制を用いている。中学校の教員だけで、9 教科すべての教科担任がそろっているわけではない。小学校の教員も中学校の授業を受け持ったり、中学校の教員が小学校の授業を受け持ったりしている。また、担任固定制にせず、日替わりで担任を交代するなどチーム担任制を取り入れている。10 月 12 日に

事務局	は、9 学年全校でスポーツフェスティバルを行う。
議長	以下の議事については、佐野議長に進行をお願いする。 ※ 審議会公開の報告 ※ 傍聴人の確認 ・議題（１）「上石津地域学園協働本部の活動について」上石津地域学園協働本部の会長三宅 治様より説明をお願いする。
協働本部会長	・この組織を立ち上げるにあたって、令和 5 年 6 月にプロジェクトチームをつくった。当初は、「上石津地域学園協働活動本部」という名称であった。連合自治会代表やまちづくり団体代表など総勢 19 名の組織を上石津まちづくり協議会の中に位置づけた。 ・上石津まちづくり協議会ができた経緯は、平成 18 年に旧大垣市と合併するにあたってで、最初の 5 年は、合併に向けて協議してきた。その後は、上石津地域の課題について協議してきた。その課題の中に、上石津学園の検討もあった。 ・令和 5 年の 6 月から 10 月まで、毎月 1 回プロジェクトチームの会議を開いてきた。11 月には、趣旨説明会を開催。12 月から 1 月にかけて、上石津学園子ども支援サポーターの募集を行った。 ・安全支援、環境支援、学習支援についての支援サポーターを募集した。特に、バス通学での登下校になるため、安全支援と、放課後見守りのための学習支援が重要な支援であった。 ・上石津地域学園協働活動の趣旨は、「地域と学校がパートナーシップに基づき、双方向の関係になること」「学校教育や子どもの育成に関わる活動を通じて、地域の人々の心のつながりを深め、地域づくりに貢献する」である。 ・上石津地域学園協働本部は、運営委員と専門委員、そして、子ども支援サポーターと学校関係者によって構成される。協議する組織として、役員会と運営委員会があり、実働部隊として、統括地域コーディネーターや地域コーディネーターを中心とする専門委員会がある。 ・安全支援は、バス停までの安全誘導、バス内の見守り、ターミナルから学園までの見守りを行う。学習支援は、3 年生以上の下校時間まで待たせることになる 1, 2 年生を、図書館で見守る活動を行っている。2 学期からは、この活動の中で、読み聞かせも行っている。放課後見守りの割り振り等は、

	コーディネーターが行い、連絡調整を行っている。環境支援は、8月31日に行う予定であった、校内の除草、剪定活動を9月28日に行う。 ・地域全体への呼びかけにより、子どもたちの登下校の時間帯に外に出て、「いってらっしゃい」や「おかえりなさい」という声かけをする人が増えてきた。多くの住民が、いつでも、どこでも、だれでも参加し、子どもたちを地域で見守る気運が醸成された。 ・また、コーディネーターの働きにより、学校との連携が密になり、スムーズに活動ができるようになった。今後も、学校との協働活動を通じて、子どもたちが地域に愛着をもち、将来、地域の担い手となる子が出てくることを期待したい。
議長	・議題(2) 意見交流に入る。 「地域、学校、家庭をつなぐ社会教育のあり方」～ウェルビーイングの実現に向けた人・地域のつながりづくり～というテーマのもと意見をいただきたい。上石津地域学園協働本部の活動に関する発表内容を聞いた上で、地域学校協働活動の在り方にも触れながらそれぞれの立場からご意見を願います。
委員	・上石津地域学園協働本部の立ち上げから、開校してこの半年間の取組、大変だったと思う。上石津地域の活動をそのまま大垣市のその他の学校に取り入れることは難しい。しかし、地域の願いをうまく具体化して、コーディネートしていくことで、地域の人々も保護者の方もボランティアに参加しやすくなっていくと思う。学校と地域の結びつきも強くなっていく。その中で、コーディネーターの役割はとても重要である。
委員	・上石津地域の方々の熱意と努力が伝わってきた。学校への支援について、具体的にわかりやすく、地域に説明して参加しやすくしている。地域の密着度が高い、この地域だからこそできた。子どもたちの将来、子どもたちの成長の過程を大切にすると考えれば、どの地域でもできるとよい。
委員	・写真など、わかりやすい資料で、活動内容がよくわかった。上石津では、お互いに安心して暮らし合っている。交通安全や環境整備など、具体的な学校支援の在り方を、地域のまちづくり協議会やPTA、学校とが balan

	スよく関わり合って子どもを見守っているのだと感じた。
議長	子どもたちが地域に愛着をもち、将来、地域の担い手になってほしいという願い、どういう子どもを育てていきたいかという願いを地域で共有するために、どういう働きかけがあったのか。
協働本部会長	平成 29 年に、各地区の保育園や学校 P T A、消防団等それぞれの団体と上石津地域の統合問題について話し合った。その中で、どういう子どもを育てていきたいか意見を交わし合った。9 年というその過程の中で、義務教育学校の設立、協働本部の立ち上げ等実現することができた。連合自治会長や社会教育スポーツ課の尽力もあった。
委員	学園の子どもたちの落ち着いた、生き生きとした姿を見て、地域の方々が一つになって、学校を支え、子どもたちを育てている成果が姿に現れていると感じた。本部の組織の中に、社会教育推進員や学校支援コーディネーターが位置づき、これまでしっかり社会教育を進めてきた歩みが反映されている。また、組織として、コーディネーターの配置がとても重要であり、上石津は、各地域に位置づいているだけでなく、統括するコーディネーターがいることが非常に良い。新しい組織ができると、新しいことにチャレンジしていこうとしがちであるが、上石津では、今できること、今必要なことに焦点をあてて着実に歩みを始めたことが、スムーズな活動のスタートにつながったと思う。今後は、子どもたちと地域が触れ合う活動が広がっていくと、ますます地域のつながりが深まっていくのではないかと。また、簡単なことから、できることから参加することを大切にしてきたことが、たくさんの人が地域に関わることになり、この協働本部のよさである。
議長	上石津地域の地域学校協働活動にかかわって多くの意見を頂戴することができた。以上で議事の全てを終了する。
事務局	以上をもって、第 3 回大垣市社会教育委員の会を閉会する。